

## 短期NZドル債オープン（資産成長型）

### 追加型投信／海外／債券

第2期 2015年3月9日決算

作成対象期間（2014年9月9日～2015年3月9日）

第2期末（2015年3月9日）	
基準価額	10,378円
純資産総額	323百万円
第2期	
騰落率	+4.3%
分配金	10円

\*騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- ◆運用報告書については、2014年12月以降に決算を迎えるファンドから「運用報告書（全体版）」とその中の重要な事項を抜粋した「交付運用報告書」の二種類を作成いたします。
- ◆運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。
- ◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法により交付することを定めております。運用報告書（全体版）については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

#### <閲覧方法>

下記ホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「ファンド検索」を選択⇒「ファンド名の一部から探す」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択

ホームページアドレス <http://www.daiwasbi.co.jp/>  
お問い合わせ先

デスクロージャー部 ☎0120-286104

受付時間は、毎営業日の午前9時から午後5時までです。

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

### 受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「短期NZドル債オープン（資産成長型）」は、このたび、第2期の決算を行いました。

当ファンドは、短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、高格付けのニュージーランド・ドル建ての公社債および短期金融商品へ実質的に投資することにより、安定した利息収益の確保を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

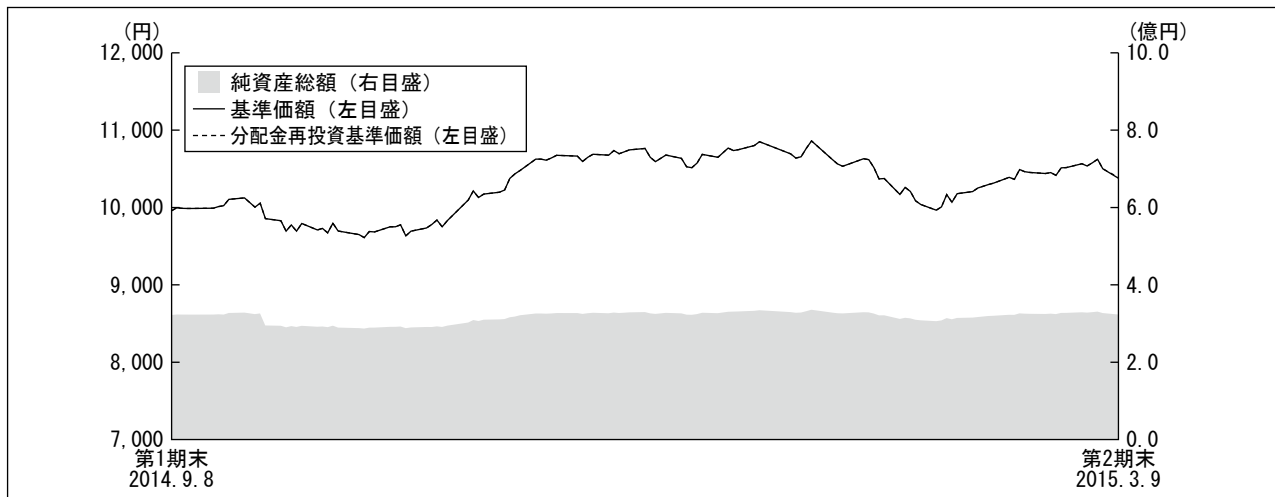


## 大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

## 運用経過

## 【基準価額等の推移】



\*当ファンドにはベンチマークはありません。

\*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

第2期首：9,959円

第2期末：10,378円（既払分配金 10円）

騰落率：+4.3%（分配金再投資ベース）

## ■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、高格付けのニュージーランド・ドル建ての公社債および短期金融商品へ投資を行いました。

（上昇要因）

ニュージーランドドル円相場が期首87.45円から期末88.88円へ上昇したことに加え、金利低下基調が鮮明となりニュージーランド債券相場が堅調に推移し債券価格が上昇したこと、金利収入を着実に積み上げたことが、プラスに寄与しました。

## 【1万口当りの費用明細】

項目	当期		項目の概要
	2014年9月9日～2015年3月9日		
	金額	比率	
信託報酬	63円	0.615%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,270円です。
（投信会社）	(31)	(0.299)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(31)	(0.299)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	( 2)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	9	0.091	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	( 9)	(0.083)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	( 0)	(0.002)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	73	0.706	

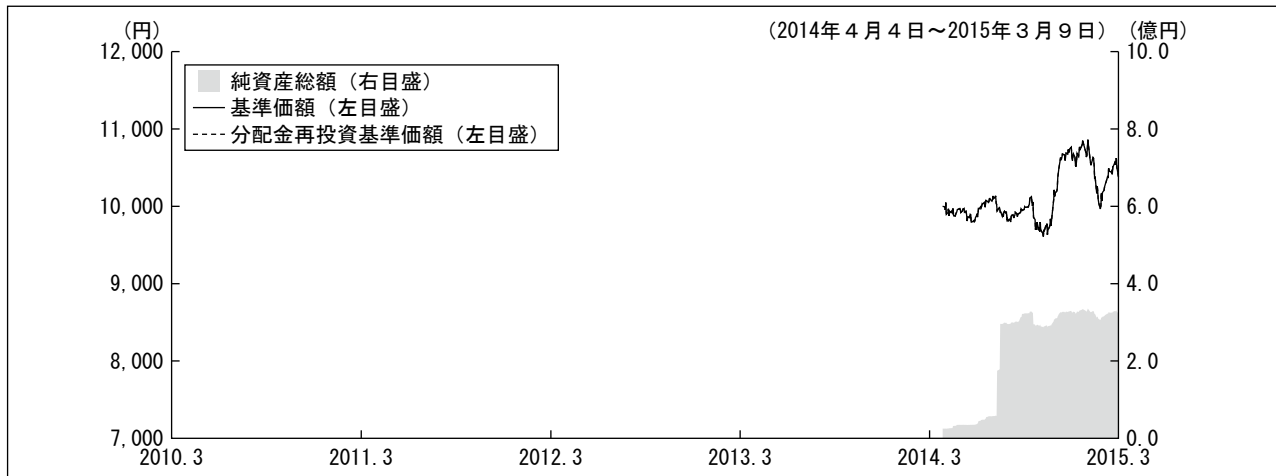
\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 【最近5年間の基準価額等の推移】



\*当ファンドの設定日（2014年4月4日）より表示しております。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

\*当ファンドにはベンチマークはありません。

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

		2014年4月4日 設定日	2015年3月9日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,378
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	10
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	3.9
Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year（円換算）騰落率	(%)	—	3.7
純資産総額	(百万円)	25	323

\*Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year（円換算）は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

## ●参考指数に関して

\*Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year（円換算）とは、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year（ニュージーランドドルベース）を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Yearは、UBS New Zealand Government 0 to 3 Yearより名称変更されました。

\*海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 【投資環境】

当期のニュージーランド債券市場は、原油価格の急落が低インフレと世界的な金利低下を促し、堅調に推移しました。ニュージーランドドルは商品価格下落の影響と金融政策スタンスの中立化により対米ドルでは値下がりしたものの、日銀の追加緩和による円安によりニュージーランドドル円相場は上昇しました。

ニュージーランドドルは、2014年9月にニュージーランド準備銀行（RBNZ）が「ニュージーランドドルの水準は正当化されないし、持続的でない」との臨時声明を発表したことなどにより、上値の重い展開となりました。その後、日銀が予想外の追加金融緩和を実施すると円安が加速しました。ニュージーランドドル円相場は上昇に転じ、12月には94円台まで上昇しました。2015年の年明け以降は、原油価格急落や欧州中央銀行（ECB）の量的金融緩和への警戒から各国が利下げを実施した影響で、RBNZも利下げに転じるとの見方が強まりニュージーランドドルは84円台まで急落しましたが、原油価格や乳製品価格が上昇に転じるとニュージーランドドルは再び90円台まで買い戻されました。

ニュージーランド債券市場においては、世界的な金利低下基調の影響を受けて堅調な相場展開が続きました。原油価格の急落が物価を押し下げ、日銀や欧州の金融緩和が世界的な金利低下を促しました。年明け以降は通貨高けん制のため各国の利下げが相次いだことやRBNZが利下げの可能性に言及したため、市場は利下げを織り込む水準まで金利が低下し、ニュージーランド債券市場は堅調に推移しました。

## 【ポートフォリオ】

### ■短期NZドル債オープン（資産成長型）

主要投資対象である短期NZドル債マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は92.9%としました。

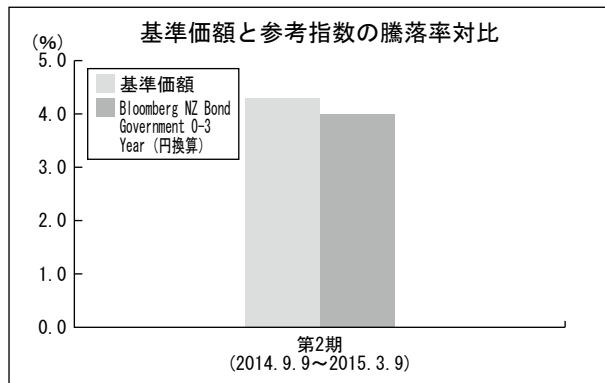
### ■短期NZドル債マザーファンド

当期の運用は、RBNZが金利据え置き期間を長期化させると判断し、国際的な低金利環境が続く中、海外投資家からのニュージーランド債券買い需要が高まると見て、期を通じてデュレーション\*を高め維持しました。特に2015年の年明け以降に世界各国で利下げが相次ぎ、市場はRBNZが利下げに踏み切る可能性を織り込み始めたことからデュレーションを引き上げ、期末のデュレーションを2.15年としました。投資銘柄は、ニュージーランド国債、LGF A債（NZ地方自治体資金調達機構）、カウリ債（非居住者が発行するNZ国内債）などへ投資を行い、期末のポートフォリオ平均利回りを3.67%としました。

\*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

## 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



## 【分配金】

収益分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり10円（税込み）とさせて頂きました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ■分配原資の内訳

（1万口当たり・税引前）

項目	第2期	
	2014年9月9日 ～2015年3月9日	
当期分配金	(円)	10
(対基準価額比率)	(%)	0.10
当期の収益	(円)	10
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	396

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■短期NZドル債オープン（資産成長型）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じてニュージーランドドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。

### ■短期NZドル債マザーファンド

今後の投資環境については、足元で底打ちした原油価格の動向や米国の金利正常化ペースが米国債券市場へ与える影響や量的緩和策を開始した欧州市場の動向がニュージーランド債券市場に大きく影響すると考えています。RBNZは過熱するオークランド住宅市場への懸念を強め不動産投資規制を強化することを明らかにしており、海外からの移住者が増加し住宅取得需要が高まる中、金融政策の舵取りが非常に難しい局面となると考えています。

デュレーションに関しては、外部環境要因がニュージーランド債券市場に与える影響やRBNZの政策スタンスを見極めながら、機動的な運営を行う方針です。投資銘柄に関しては、国債、地方債、国際機関債、政府機関債を中心に幅広い銘柄に分散投資を行う方針です。また、社債については流動性や銘柄分散を考慮しながら投資妙味の高い銘柄への投資を検討する方針です。

## お知らせ

平成26年12月1日付の改正投資信託法施行に伴い、投資信託約款において以下の対応を行いました。  
(2014年12月1日付)

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供し得るための所要の変更を行いました。
- ・書面決議手続きの緩和に関する所要の変更を行いました。
- ・デリバティブ取引に係るリスク管理方法の記載を行いました。

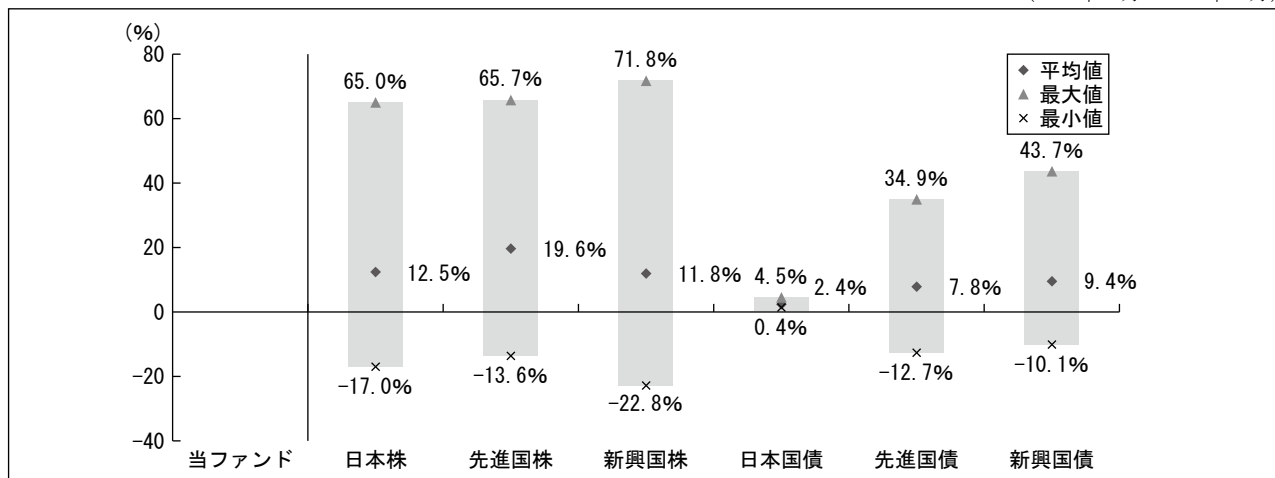
## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年4月4日～2024年4月8日（約10年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	短期NZドル債マザーファンド受益証券
	短期NZドル債マザーファンド	ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用はファミリーファンド方式で行います。</li> <li>・ファンド全体のデュレーションは、原則として3年未満とします。</li> <li>・原則として為替ヘッジは行いません。</li> </ul>	
分配方針	<p>毎年3月、9月の7日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>*分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	



## 【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

(2010年3月～2015年2月)



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

\*当ファンドは設定から1年が経過していないため、年間騰落率を表示できません。

\*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## &lt;各資産クラスの指数について&gt;

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社
先進国債	シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	Citigroup Index LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

## 当該投資信託のデータ

## 〈〈当該投資信託の組入資産の内容〉〉

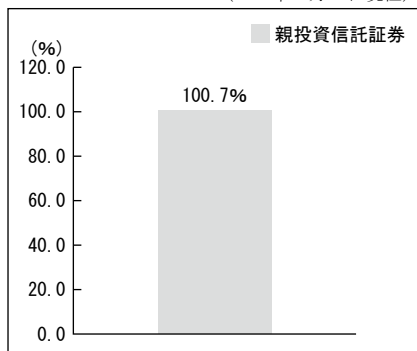
## 【組入ファンド】

	第2期末（2015年3月9日）
	組入比率
短期N Z ドル債マザーファンド	100.7%

\*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## 【資産別配分】

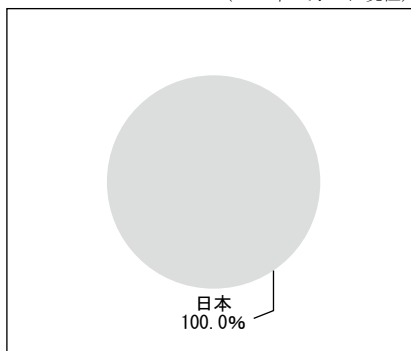
(2015年3月9日現在)



\*純資産総額に対する評価額の割合

## 【国別配分】

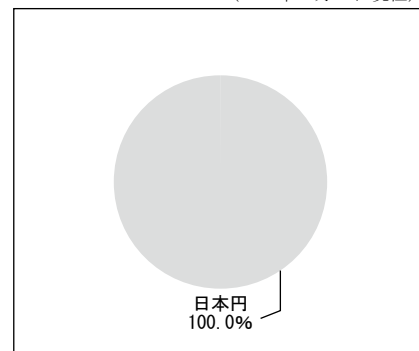
(2015年3月9日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

## 【通貨別配分】

(2015年3月9日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

## 【純資産等】

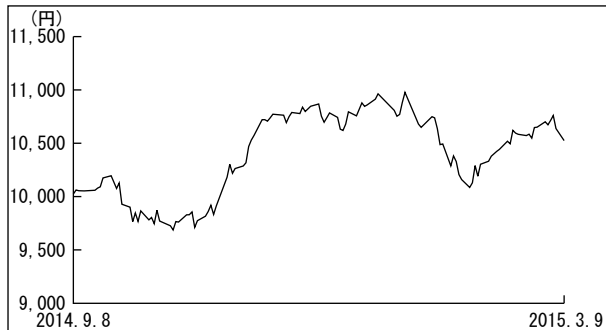
項目	当期末
	2015年3月9日
純資産総額	323,309,060円
受益権総口数	311,529,648口
1万口当り基準価額	10,378円

\*当期中における追加設定元本額は25,504,349円、同解約元本額は37,374,819円です。

## <<組入ファンドの概要>>

### ■短期NZドル債マザーファンド

#### 【基準価額の推移】



#### 【1万口当りの費用明細】

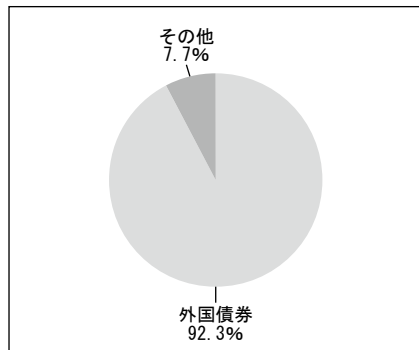
(2014年9月9日～2015年3月9日)

項目	金額
その他費用 (保管費用) (その他)	9円 (9) (0)
合計	9

\*費用項目については、2ページの項目の概要をご参照ください。  
 \*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 \*円未満は四捨五入しています。

#### 【資産別配分】

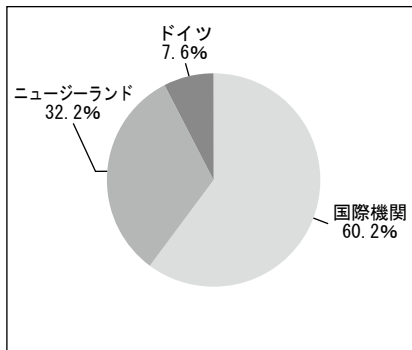
(2015年3月9日現在)



\*純資産総額に対する評価額の割合

#### 【国別配分】

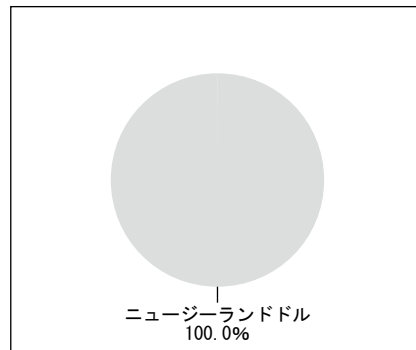
(2015年3月9日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【通貨別配分】

(2015年3月9日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【組入上位銘柄】

(2015年3月9日現在)

銘柄名	通貨名	比率
1 INT BK RECON & DEVELOP 4.5 08/16/16	ニュージーランドドル	23.4%
2 EUROPEAN INVESTMENT BANK 7.5 12/15/17	ニュージーランドドル	21.6%
3 NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 6 12/15/17	ニュージーランドドル	13.5%
4 NEW ZEALAND GOVERNMENT 6 12/15/17	ニュージーランドドル	12.4%
5 INTL FINANCE CORP 6.25 12/15/17	ニュージーランドドル	6.2%
6 LANDWIRTSCH. RENTENBANK 4 01/30/20	ニュージーランドドル	5.8%
7 NEW ZEALAND GOVERNMENT 6 05/15/21	ニュージーランドドル	2.7%
8 ASIAN DEVELOPMENT BANK 4.125 10/28/16	ニュージーランドドル	2.1%
9 LANDWIRTSCH. RENTENBANK 7 05/10/17	ニュージーランドドル	1.2%
10 NORDIC INVESTMENT BANK 7.5 04/15/15	ニュージーランドドル	1.2%

(組入銘柄数 12銘柄)

\*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。



世界に通用する質の高い  
資産運用会社を目指します